

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢原警察署協議会	
日時	令和7年11月4日（火）午後2時から午後4時までの間	
場所	神奈川県伊勢原警察署3階講堂	
出席者	1 警察署協議会側 会長 飯島大輔、副会長 藤井直子 委員 飯塚武彦、亀井則男、川野邊誠、河原康二	計6人
	2 警察署側 署長 高橋章、副署長 坂本義博、調査官 富樫肅、会計課長 鶴井和隆、 生活安全課長 渡部誠、刑事課長 福田順一、交通課長 盛川淳一、警備課長 夏井慎太郎 地域企画係長	計9人
議事要旨	答申に対する取組結果の説明	
	前回諮問「巡回連絡の効果的な推進方法について」 1 答申 ・ 自治会と連携し、事前に巡回連絡を実施することを地域住民に回覧板や掲示物などで周知させる。 ・ 巡回連絡カードの記載を要請するにあたり、口頭での説明ではなく、巡回連絡カードの利用目的や目的外に利用しない旨などを記載した書面を交付する。	
	2 取組結果 ・ 巡回連絡の周知 各自治会の理事と行政機関等が出席のもと毎月開催される自治連理事会において、巡回連絡の趣旨と巡回連絡カード作成の協力依頼文を掲載した「地域安全ニュース」を各自治会の回覧板で回覧するよう依頼した。 ・ 利用目的などを記載した書面の交付 特殊詐欺の被害防止を呼び掛けるチラシに「巡回連絡カードの目的について」と題した一文を掲載し、各戸訪問の際に交付した。 書面に、交番名及び巡回連絡を実施した警察官の名前を記載し配布することで、担当者がかかるようになっている。 ・ 巡回連絡ロールプレイングの実施 実務経験に乏しい若手警察官を対象に、指導員が巡回連絡のシュミレーション訓練を実施し、相手に理解を得られるような対応方法の習得に努めた。	
	講義	
【講義】「サイバー空間を取り巻く情勢と対策について」 警察本部サイバーセキュリティ対策本部より講師を招き、サイバー犯罪から身を守るための対策等についての講義を受講した。 協議委員から、 ・ 被害に遭わないために、不安を感じる出来事があれば、早い段階で警察や周囲の人への相談が必要だと感じた。		

- ・ サイバー犯罪は身近に迫っていると感じた。パスワードの管理や不審なリンクを開かないなど、日常生活の基本的な行動が被害を防ぐとわかったので、今日の講義の内容を周囲の人と共有しようと思った。

などの意見が寄せられた。

業務説明

各課担当課長らが、令和7年7月から10月の業務推進結果及び令和7年11月から令和8年2月の業務推進予定について説明を行った。